

一般公開（上田庁舎）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産研究総合センター 公開日: 2024-12-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 箱山, 洋 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012437

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



一般公開 (上田庁舎)

箱山 洋



NRIFS-Ueda Open Day

Hiroshi Hakoyama

一般公開
(上田庁舎)

一般公開 (上田庁舎)

上田庁舎では今年度は10月2日(日)に一般公開を行い、204名の来訪者がありました。当日は久しぶりの夏日で日差しの強い日でした。今年は「身近な川の生き物に触れる」というテーマから、新しい企画として生物に触れる学習会を行いました。(1 魚の採集と同定、2 水生昆虫など川の生物調査、3 ため池のプランクトンを見る)。主に小学生以下の子供を中心とした参加があり、好評だったと思います。また、研究室の紹介としてパネルや出版物の展示、川魚と環境に関する講演会、鯉こく試食コーナー、釣り体験教室(マス釣り)を行いました。特に講演会は、アユの生態・フナ的生活・ダムと魚道について行い、それぞれたくさんの人に聞いて頂くことができ、また質疑応答も盛んでした。鯉こく、釣り堀も多くの人に楽しんで頂けたと思います。さらに、関東農政局移動学習車も参加し、水産総合研究センターの紹介や食に関するVTRを放映しました。人手が不足しがちな所、日光庁舎や横浜庁舎などからの職員の応援は大変助かりました。反省点として、当日のスケジュールを配布資料だけでお知らせしていて、スケジュールの立て看板などは準備していなかったことが挙げられます。来年度はよりわかりやすくするように申し合わせをしました。また、1時までに2/3の企画が終了していましたので、午前と午後のバランスが悪かったかもしれません。>多少お祭りの要素が強い水産総合研究センターの一般公開ですが、来訪者の方のなかには、センターの研究費や維持費がどこからくるのか、どのような研究もしくは受託業務をしているのか、といった質問をされる方もいました。常日頃行っている研究活動を国民に説明するのが一般公開の役目ですから、その点に関しては特におろそかにしないことが大切だと思います。

[ページのTOPへ](#)

写真1



☒ CLOSE

写真2





写真4



☒ CLOSE